

機械器具 13 聴診器
一般医療機器 機械式聴診器
JMDN コード：13755000

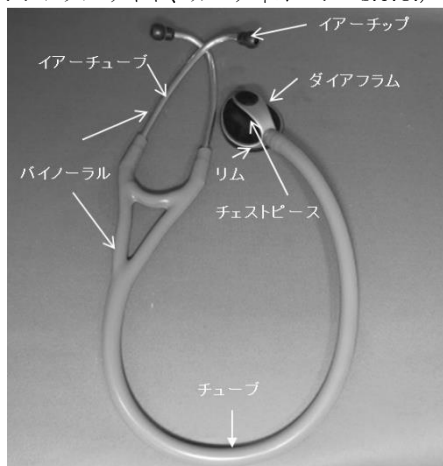
リットマン ステソスコープ

【形状・構造及び原理等】

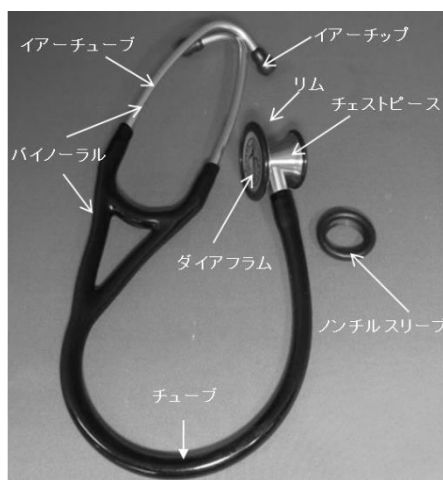
本品は、イアーチップ、イアーチューブ並びにチューブからなるバイノーラル部と皮膚に直接接触して生体音を拾うチェストピース部から構成される聴診器である。

本品のチェストピースは、シングルサイド・チェストピースと 2 ウェイ・チェストピースがある。

（代表例：シングルサイド、カーディオロジーS.T.C.）



（代表例：2 ウェイ、カーディオロジーⅢ）



1. 機能及び動作原理

（シングルサイド・チェストピース）

本品のチェストピースは、一面タイプである。ダイアフラム面を皮膚に強く当てると高周波音、皮膚に軽く当てると低周波音の聴診が可能である。

（2 ウェイ・チェストピース）

本品のチェストピースは、両面タイプである。大きなダイアフラム面とベル面または小さなダイアフラム面とがある。聴診に適した面を選択できる。小さなダイアフラム面を取り外して、ノンチルスリーブに交換してベル面として使用できる。

【使用目的又は効果】

生体音を直接聴診するために用いる機械式の聴音装置である。

【使用方法等】

（シングルサイド・チェストピース）

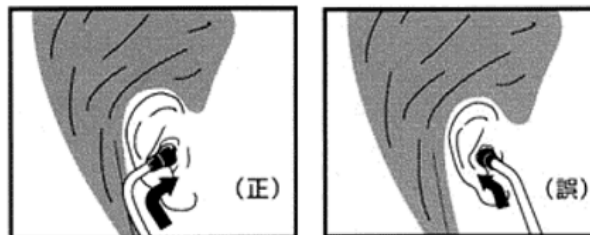
1. イアーチューブの前後の向きを確認し、正しい方向（図参照）になるようにイアーチップを耳に挿入する。
2. 本品のダイアフラム面は、同一面で低・高周波音を聴診できるサスペンデッド・ダイアフラムを採用しているので、その当てる強さによって低・高周波音を切り替えて聴診可能である。
3. 低周波音を聴診するには、チェストピースを皮膚に軽く押し当てる。
4. 高周波音を聴診するには、チェストピースを皮膚に強く押し当てる。

（2 ウェイ・チェストピース）

1. イアーチューブの前後の向きを確認し、正しい方向（図参照）になるように、イアーチップを耳に挿入する。
2. チェストピースとチューブとを接続している金属部を回転させて、聴診する面にあわせて適切な方向に調節し、聴きたい部位の皮膚にチェストピースを当てる。
3. サスペンデッド・ダイアフラムの場合は、当てる強さによって低・高周波音を切り替えて聴診可能である。

《使用方法に関連する使用上の注意》

- ・イアーチップを耳に挿入する際に下記の正しい方向に挿入すること。



- ・イアーチップを外した状態で本品を使用しないこと。

【使用上の注意】

その他の注意

1. 完全に洗浄するときは、イアーチップをイアーチューブからはずして行うこと。
2. 消毒のため薬液に浸したり、滅菌したりしないこと。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

極度の高温、低温の場所での保管を避けること。また、溶剤やオイルが近くにある場所での保管も避けること。

【保守・点検に係る事項】

イアーチップ、チューブ、ダイアフラムやリムは、必要に応じ、アルコールまたは石鹸水を用いて清拭すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

名称：ソルベンタムイノベーション株式会社

TEL：0570-000-470（カスタマーコールセンター）